遠木 声

LV 2

私の前職

高校教師

得意なこと

そもそも論

議論のゼロポイントを探り当てる。

© 2023 kidahami

なぜ大学図書館員になったのか

学内異動で希望を出し配属されました。それまでは主に広報系のお仕事をさせていただきました。昔から読書が好きで憧れの図書館で勤務できる日が来るなんて。小さい大学なので、別部署への異動があるかもしれませんが、天職だと感じています。

得意な（好きな）仕事

何かを新たに生み出したりする企画段階が得意です。

苦手な（嫌いな）仕事

大人数への考えを口頭で相手に伝えることが苦手です。話し終わった段階で皆さま「きょとん」としていることが多いのです。

大学図書館で働く推しポイント

大学図書館では、学生と関わる事が多く、常に刺激をいただけます。書籍や雑誌の探し場所や論文情報の検索方法など直接的に研究のお手伝いをしているんだなという実感が肌で感じ取れます。大学本部でも業務をしていましたが、教員や学生の顔を見ながら、 仕事がどのように誰かの役に立っているかが見える環境で働くのは素晴らしいと思います。

私が考える 2050 年の大学図書館

大学図書館は、紙媒体、電子データなど媒体を問わず知の宝庫だと思います。22世紀において大学図書館がリアルで存在するのか、オンラインのみになるのかは分かりませんが、学生や教員にとって気軽で頼りになる個々のパーソナルに合わせた執事（コンシェルジュ）のような役割を果たしているのではないでしょうか。

© 2023 kidahami

no.032